

経営比較分析表（令和6年度決算）

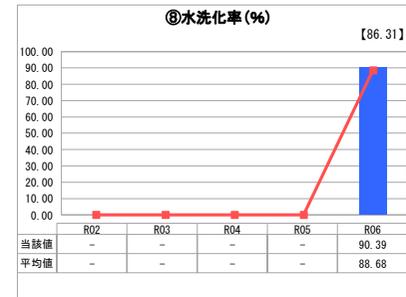
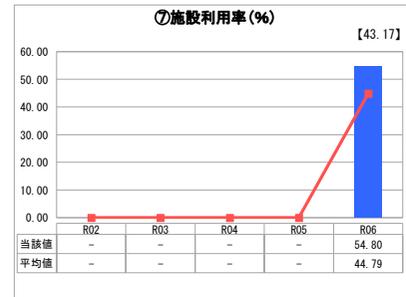
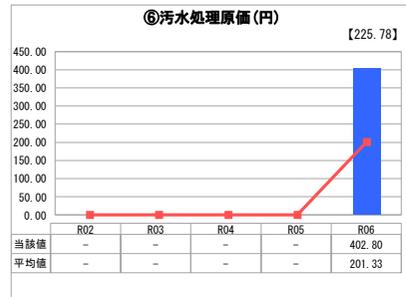
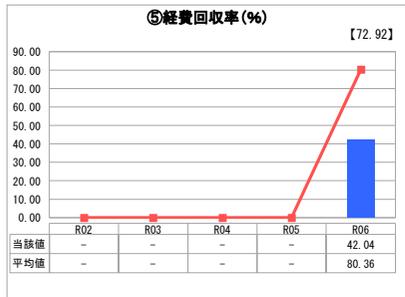
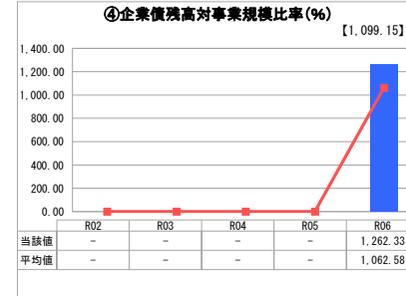
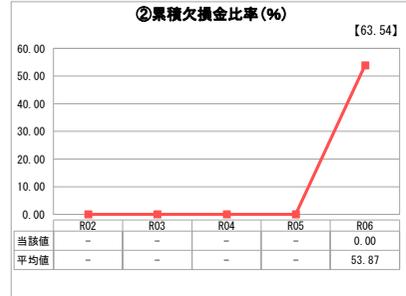
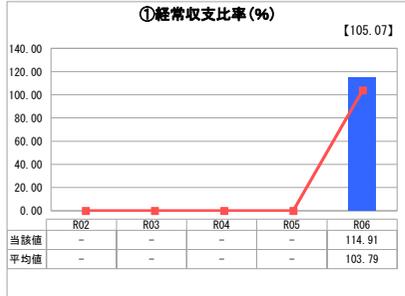
山形県 白鷹町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	82.29	23.31	65.10	3,520

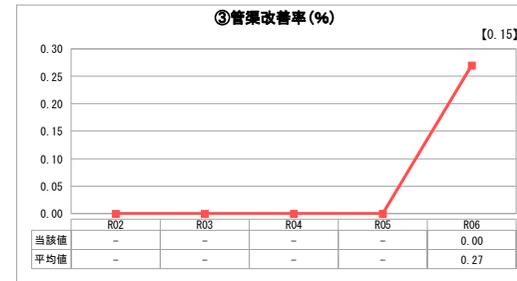
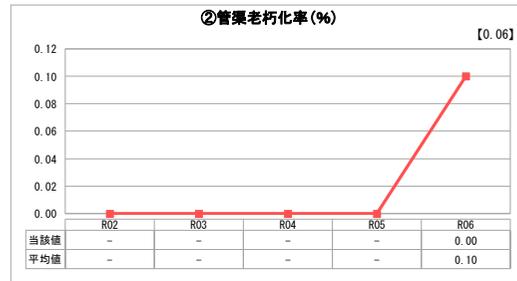
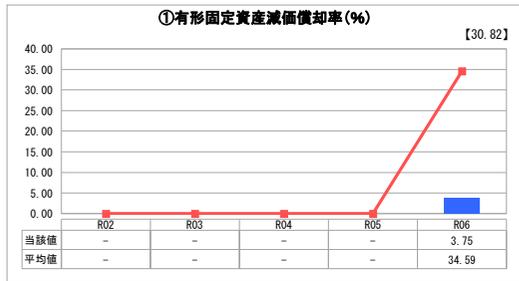
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,222	157.71	77.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,829	1.78	1,589.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、使用料収入等で維持管理費や支払利息等の費用を随い、100%を超え平均値を上回った。使用料収入は減少傾向にあることから、更なる経営努力が必要である。
- ② 累積欠損金比率は、建設改良費に充てた企業債償還金の割合が大きいため、短期での支払能力が乏しく、平均値を下回っている。
- ③ 流動比率は、建設改良費に充てた企業債償還金の割合が大きいため、平均値を上回っている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債残高が大きいため平均値を上回っている。
- ⑤ 経費回収率は、平均値を下回っているため、今後の厳しい経営環境を踏まえ、徹底した費用の削減等、適正な事業運営に努めなければならない。
- ⑥ 汚水処理原価は、有収率が低く、汚水処理費が大きいことから、平均値を上回っている。
- ⑦ 施設利用率は、処理水量が増加していることから、上昇傾向で推移している。
- ⑧ 水洗化率は、増加傾向にあり、平均値を上回っている。安定した収入を確保するためにも、今後も接続促進に努めなければならない。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、令和6年度の地方公営企業法適用の際、法適用前の減価償却累計額を控除した額を年度開始時点の資産として計上したため、減価償却累計額が小さく、平均値を下回っている。
- ② 管渠老朽化率及び管渠改善率は、法定耐用年数を超えている管渠が無いため、平均値を下回っている。今後、処理場やポンプ場も含め、施設や管渠の老朽化による更新費用の増加が懸念される。今後策定するストックマネジメント計画により、施設や管渠の状態を予測しながら、計画的かつ効率的に管理を行うとともに、平準化を考慮した更新工事を実施していく必要がある。

全体総括

人口減少による使用料収入の減少や施設や管渠の老朽化による更新費用の増加が懸念される中で、下水道事業の持続と安定した経営が求められる。そのためには、下水道事業経営戦略による中長期的な財政マネジメントや広域化・共同化による経営基盤の強化、ストックマネジメント計画による効率的な施設管理など、有効な施策をより強力に実行していく必要がある。

また、下水道事業は事業の性質上繰上基準に基づく一般会計繰上額が他事業に比べ充実しているが、独立採算の原則のもと、一般会計からの繰入金には過度に依存せず使用料収入で経費を賄えるように努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。